



# 允中だより “明るく 強く 正しく”

学校通信

令和2年6月26日

倉敷市立長尾小学校

## 西日本豪雨災害から間もなく二年…

自転車置き場のとなりの学級園では紫陽花の株にたくさんの薄ピンク色の花が咲き、勢いのよい植物の様子が見る者に元気を与えてくれます。保護者の皆様には新型コロナ禍で何かとご苦勞の多い中、いつも長尾小学校の教育に温かいご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、あの甚大な被害をもたらした西日本豪雨災害から7月6日で二年。多くの人の関心が新型コロナウイルス感染症に向けられていますが、改めて災害への備えの大切さも感じているこの頃です。先日も倉敷地域に大雨・洪水警報が発令されましたが、降りしきる雨に真備地区にある前任校で経験した辛い記憶がついこの間のことのようによみがえり、胸が苦しくなりました。

倉敷市では、身近な地域で発生したこの災害の教訓を生かそうと本年度より第3学年と第5学年の総合的な学習の時間に水害を想定した防災学習にも取り組むことになっており、学校でも災害をより身近なものとして捉えさせ、子どもたちの防災意識を高めていきたいと考えています。私自身も、以前、自分の所はきっと大丈夫だろうと何の根拠のない思い込みをしていましたが、真備での経験に自らの認識の甘さを思い知らされました。今や百年に一度というような異常気象も毎年のようにどこかで起こっており、再び身近なところで大きな災害が発生しても不思議ではありません。大雨や台風の発生が多くなるこれからの時期、今一度、自分の地域にはどんな危険性が潜んでいるのか、どんな備えが必要か、災害の危険性が高まった時、どこへどのように避難するのか、ご近所に支援が必要な方はおられないか、などお子様を交えてぜひご家庭で話し合っていたいただきたいと思います。

今年は7月いっぱい授業日となり、学校生活もあとひと月あまり続きますが、ますます暑さの厳しくなるこの時期、職員一同、子どもたちの健康・安全にさらに留意しながら教育活動に取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。（校長）

【東門であいさつ運動をする運営委員】

学校では通常登校に戻って約4週間。例年より2か月ほど遅れての本格的な学校生活の始動ではありましたが、校門で運営委員が朝のあいさつ運動に自主的に取り組むなど、いつもの活気ある毎日を取り戻しています。

しかし、表面的には落ち着いた様子を見せている子どもたちですが、5月末に実施した「心と体のアンケート」では、「イライラする」「心配なことをずっと考えてしまう」の項目で「ある」「ときどきある」と回答した児童は、それぞれ全体の40%を超え、新型コロナウイルス感染症に関連して心理的な影響を強く受けていると思われる児童がかなりいることが分かりました。

必要に応じてスクーカウンセラーによる専門的な見地からのアドバイスをいただくこともできますので、お子様の様子で気になることがありましたら、どうぞお気軽に学校までご相談ください。

## 【人権・教育相談週間の取り組み】

6月22日（月）～26日（金）は第1回校内人権週間でした。

相手の立場や気持ちを考えた言動がとれる児童を育てることや、友達のよさや頑張りを認め、一人一人が存在感を持てる学級づくりをするきっかけとすることなどをねらいとして毎年取り組んでいる活動ですが、今年度のテーマは「自分を大切に友達を大切に ありがとうの気持ちを大切に」と設定し、一学期は、特に「自分を大切にする」ということに重点をおいて取り組みを進めました。

期間中、人権ポスターや標語の作成、人権に関する授業、自分の特徴を知って良いところを伸ばそうとする態度を育てる道徳の実践、学級で互いのよいところを見つけてカードに書いて伝え合う、「よいところ見つけ」などの活動を行い、校内に、自分も友達も大切にしていこうという気運が高まっています。



## 【全員そろっての学校生活で感じたこと】～6年生の取り組みから～

通常登校が再開したのを機に、6年生が自粛生活を振り返りながら、「久しぶりの学校で感じたこと」や「これからの学校で楽しみたいこと」などをワークシートに表現しました。その一部を紹介します。

### <久しぶりの学校で感じたこと>

- ・みんなと会えてよかった ・たくさんの人と遊べるから楽しい ・みんなと最初会った時はちょっと緊張した
- ・友達と久しぶりに話ができてうれしかった ・宿題が少なくなってラッキー ・授業の方が分かりやすい
- ・家でみんな予習していて授業がスムーズに進んでうれしい ・登下校で久しぶりに歩くとても疲れた
- ・体力がすごく落ちていた ・マスクをつけているのが苦しい …

### <これからの学校で楽しみなこと、やってみたいこと>

- ・全員で遊びたい ・学習が楽しみ ・クラブをしたい ・委員会や係をしたい ・運動会をやりたい
- ・先生も含めてみんなで鬼ごっこをしたい ・修学旅行に行きたい ・学習発表会をやりたい
- ・生き物を飼ってみたい ・みんなで球技をしたい ・長縄がしたい ・給食が楽しみ
- ・学校の本の好きなシリーズを全部読みたい ・修学旅行に行くことができなかつたら学校で泊まりたい
- ・みんなで無事に卒業したい ・クラスみんなで何か作ってみたい ・クラスの人ともっとゲームがしたい…

子どもたちの言葉の中に「みんなで～」という表現が多くみられ、学級の友達に会えたことへの喜びとともに、学級のみんなで一緒に活動することへの期待感があふれていました。

感染症対策で様々な制約があり、例年になく不自由な生活を余儀なくされましたが、この経験により友達の存在の大きさや、何気ない日常のありがたさに改めて気付いた児童も多かったのではないのでしょうか。

## 熱中症対策について

健康上の個人差を考慮し、ご家庭で必要と判断された場合は、次の物を持たせていただいてもよいです。

（使用は登下校時のみとします。）

- 首元を冷やすクールネック・タオル
- 日傘（直射日光を避け、人との距離をとることもできます。）

※登下校時は距離を保って、マスクをはずしてもよいです。



※ポスターは5年C組児童の作品